

県外派遣報告書

審判員名	竹澤 友美	所属	ミニ連盟
大会名	平成25年度 関東総合バスケットボール選手権大会		
期間	平成25年11月23日(土)～24日(日)		
会場	山梨県 富士北麓公園体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
11月22日(金)	審判会議	山梨県立吉田高等学校 会議室	
11月23日(土)	男女一回戦	山梨県富士北麓公園体育館	
11月24日(日)	男女準決勝・決勝	山梨県富士北麓公園体育館	
会議 講義 内容			
<p>安西関東ブロック長: 今大会は日本一を決める大会であるAJ予選です。Tech・アンスポ・ワーニングを含めゲームレベルにあった判定をしAJ出場にふさわしいチームを関東の代表として決定したい。また、公務等により審判会議に出席できない方へは、大会、会場諸注意等の伝達事項について明日ペアの方からきちんと伝達してほしい。</p> <p>レクチャー: 中嶽希美子氏: 関東総合はゲーム内容、レベルとして難しい。AJ本大会に向けてゲームの進め方、心構えについてすでにわかっていることをどのように実践するかを確認したい。</p> <p>渡邊諭氏: 別紙参照</p>			
実技			
担当試合	期 日	11月23日(土)	男子 (女子) 女子一回戦
	対戦カード	TBC (栃木県) VS 山梨学院大学(山梨県)	(主審) 副審
	相手審判	加藤 誉樹氏 (東京都)	
ミーティング内容		主任 渡邊 諭氏(指名)	
<p>ゲームの流れをどのように感じていたか。判定する上で大切なのは「選手がどうしたいか」である。インサイドのやり取りには早くから目を当てておくこと。トレールでエリア3と次に対応できる位置取りを。</p>			
担当試合	期 日	11月24日(日)	男子 (女子) 女子準決勝
	対戦カード	玉川大学 (東京都) VS 山梨学院大学(山梨県)	U1
	相手審判	R: 中嶽 希美子 氏(指名) ・ U2: 坂田 愛 氏(千葉県)	
ミーティング内容		主任 渡邊 整氏(栃木県)	
<p>ゲームの流れを感じて吹くことは難しいことだが、自分のエリアで起こるものの判定を1つずつ積み重ねていくことで繋がっていくのではないかと。誰が吹いた、吹かないではなく、普段主審で入るときに取り組んでいることをいつも表現すると良い。Cからの介入として、ブレイク時にC側で起こるもの、ベースライン付近のCへ向っていくペネトレーションへの判定を積極的に。</p>			
総評			
<p>安西関東ブロック長: 指名のお二人を始め、AAの方々、ファウルをファウルとして取り上げる。罪なきは罰し無い。アクションを判定しリアクションを取り上げることは無い。タイムアウトからゲームの再開についても常に時間内に行わせる。1つ1つの当たり前のことがわかりやすくスムーズにコートの上で実践されていた。</p>			
全体の感想			
<p>昨年に続き関東総合へ派遣をいただきありがとうございました。自分は今後、コートで起こる全ての場面で判定基準を示せるように、努力していかなくてはならないことに向き合い、そしてコートに立った時には目の前の1つのPLAYに向き合っていきたいと思っております。</p> <p>最後になりますが山梨県の審判員の皆様には、細部に渡りお気遣いをいただきました。ありがとうございました。全国ママさん大会で埼玉県へ派遣のご協力いただいた女性審判員の方々と再会することができ、改めて時間を共有させていただけたことがとても嬉しかったです。次にお会いできる機会を楽しみにしております。この度は大変お世話になりました。</p>			